

令和4年度 兵庫県くすのき賞被表彰団体名簿

番号	表彰年月日	団体名	所在地 代表者	会員数	表彰理由
1	[令和4年7月20日] 姫路市文化コンベンションセンター (アクリエひめじ) 【 第71回姫路市連合自治会大会 】	やわたちくれんごうじちかい 八幡地区連合自治会	姫路市 (代表者名) 廣田 豊司	6,095 (世帯)	八幡地区は、姫路の南西部に位置し、太子町と境を接している。地域の住宅開発が進捗する中で、「左義長(とんど)」を作る場所選定と材料の稲藁の入手が困難になっている。地域の正月行事の「とんど」行事を続け、地域社会の担い手に受け継いでもらうため、新型コロナウイルス感染症拡大により規模を縮小しながらも各自治会が主体となり取り組んでいる。
2	[令和4年7月20日] 姫路市文化コンベンションセンター (アクリエひめじ) 【 第71回姫路市連合自治会大会 】	おおつもちくれんごうじちかい 大津茂地区連合自治会	姫路市 (代表者名) 後藤 裕司	2,875 (世帯)	近年、町並みの変化とともに生活も大きく変化している。コロナ禍のなかで、自主防災訓練やクリーン作戦等の活動を年間を通して連合自治会、各種団体が役割分担し実施することにより、大津茂地区住民の連携を深めている。
3	[令和4年7月20日] 姫路市文化コンベンションセンター (アクリエひめじ) 【 第71回姫路市連合自治会大会 】	みくにのちくみくにのちょうごちやくじちかい 御国野地区御国野町御着自治会	姫路市 (代表者名) 井内 義延	1,250 (世帯)	御国野町御着地区は、「播磨風土記」にも記載されているように、歴史文化を基に発展してきた地域である。文化遺産も多く存在するが、文化財に対する住民の意識が低く、保存継承に課題と後継者育成に苦慮してきた。また、地域コミュニケーションの場も少なく、人間関係の希薄化も進んでいた。そこで文化遺産を活かしたイベントを立案、実施することで、世代間交流と自治会の活性化を図っている。
4	[令和4年7月20日] 姫路市文化コンベンションセンター (アクリエひめじ) 【 第71回姫路市連合自治会大会 】	あぞのちくれんごうじちかい 筋野地区連合自治会	姫路市 (代表者名) 藤原 修	291 (世帯)	コロナ禍の中で、恒例行事がやむなく中止となったため、草引きボランティア活動やラジオ体操などコロナに対応した新しい行事を企画し、元気で明るいふるさとづくりを推進し、筋野地区の活性化に取り組んだ。
5	[令和4年7月20日] 姫路市文化コンベンションセンター (アクリエひめじ) 【 第71回姫路市連合自治会大会 】	なかでらちくれんごうじちかい 中寺地区連合自治会	姫路市 (代表者名) 藤尾 美正	2,569 (世帯)	中寺地区は、姫路市の北部地域で中寺小学校を中心に11の単位自治会で構成され、年間を通じて全住民参加行事として盆踊り、恒屋城ウォーキングなどを行い地域の活性化、住民の交流に取り組んだ。また、地域ふれあいコミュニティ活動「親子で作る日本ミツバチ 巣箱づくり」のほか、「恒屋赤そば祭」を開催する等、子供も多数参加する事業を実施することで、地域住民の多世代間のふれあいと交流を図り、地域コミュニティの推進につながった。